



2025年3月期 決算説明資料 I 部

2025年3月期 決算説明資料

－決算報告・見通し・トピックス－

2025年3月期 決算説明資料 I 部の動画は
当社YouTubeチャンネルに掲載しております。

動画URL : <https://youtu.be/3nsVVHxaG0s>

1. 2025年3月期 決算報告
2. 2026年3月期 通期見通し
3. トピックス



日本プラスト株式会社

1. 2025年3月期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

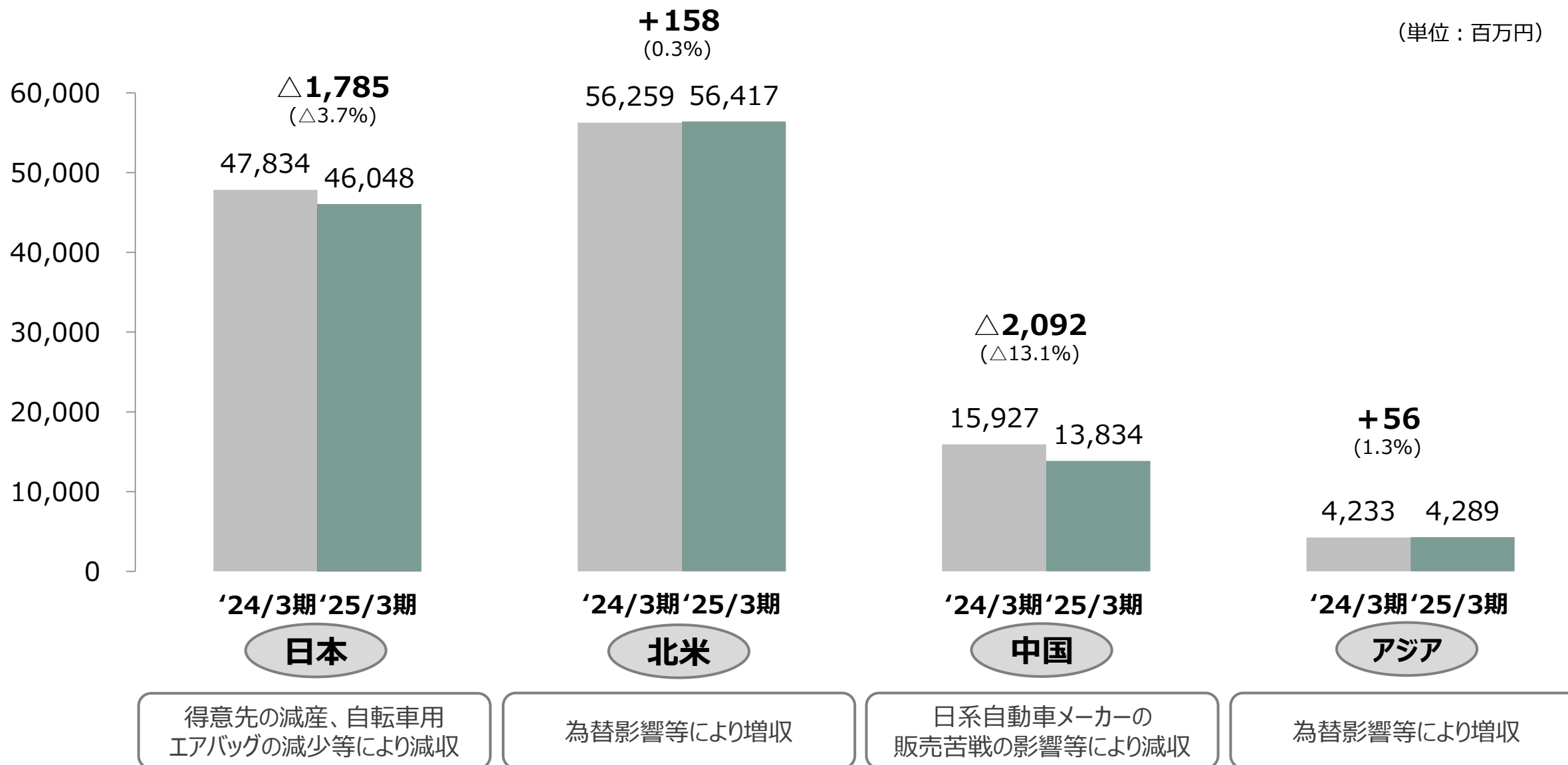
	2024年3月期		2025年3月期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	124,255	100.0%	120,591	100.0%	△ 3,663	△ 2.9 %
売上原価	111,781	90.0%	108,325	89.8%	△ 3,455	△ 3.1 %
売上総利益	12,473	10.0%	12,265	10.2%	△ 207	△ 1.7 %
販売費及び一般管理費	9,662	7.8%	9,493	7.9%	△ 168	△ 1.7 %
営業利益	2,811	2.3%	2,772	2.3%	△ 38	△ 1.4 %
経常利益	2,920	2.4%	2,006	1.7%	△ 913	△ 31.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,478	2.0%	56	0.0%	△ 2,422	△ 97.7 %
1株当たり当期純利益	129.75円		2.97円		—	—
1株当たり配当金	15.00円		15.00円		—	—
設備投資額	2,710		4,142		1,432	52.9 %
減価償却費	5,504		4,863		△ 641	△ 11.6 %
US \$ 換算レート	注1) 141.20円		注2) 152.27円		11.07円	—

注1) 23年 1～12月平均レート 注2) 24年 1～12月平均レート

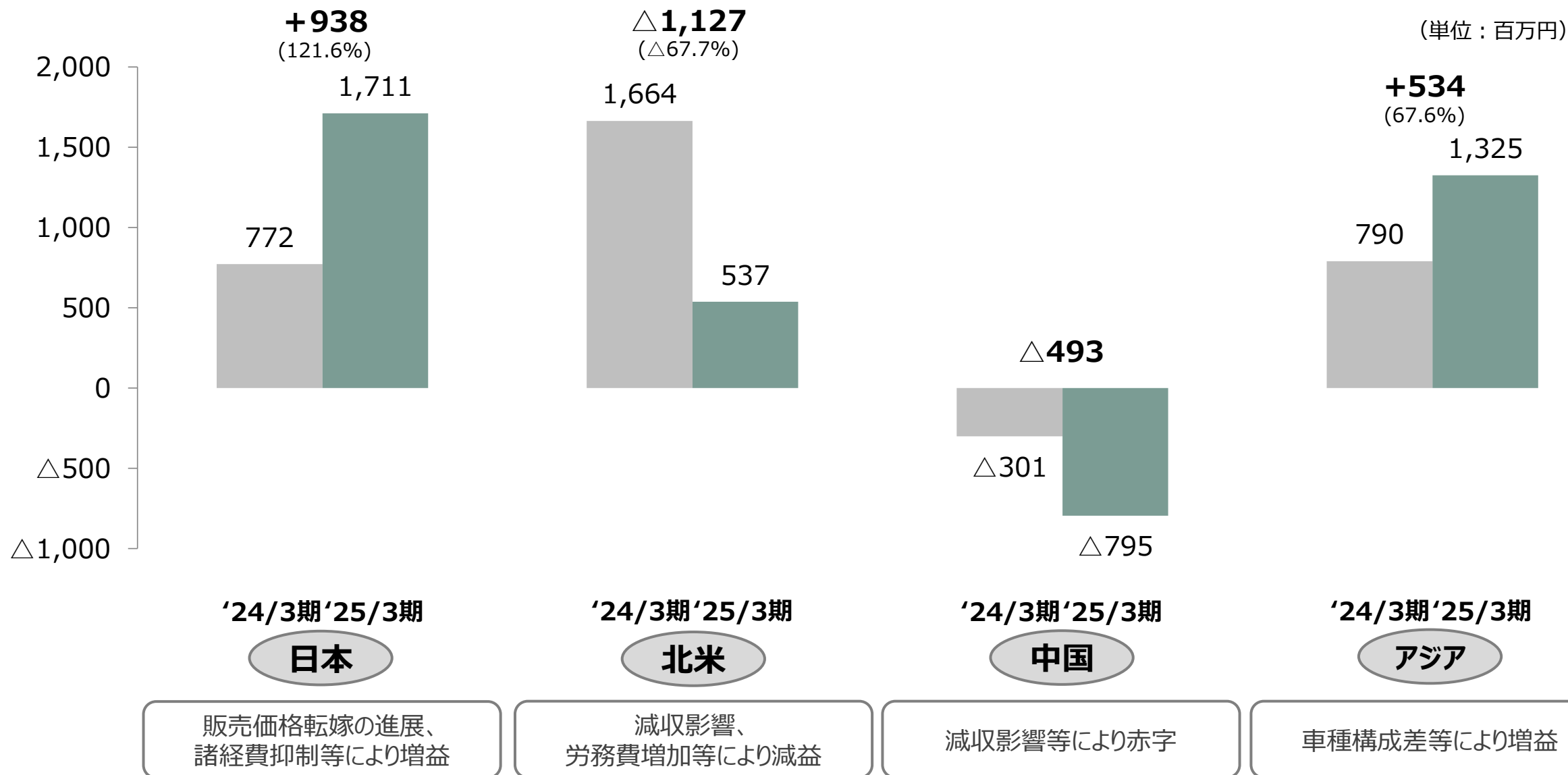
(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)



(2) セグメント情報 <地域別営業利益>

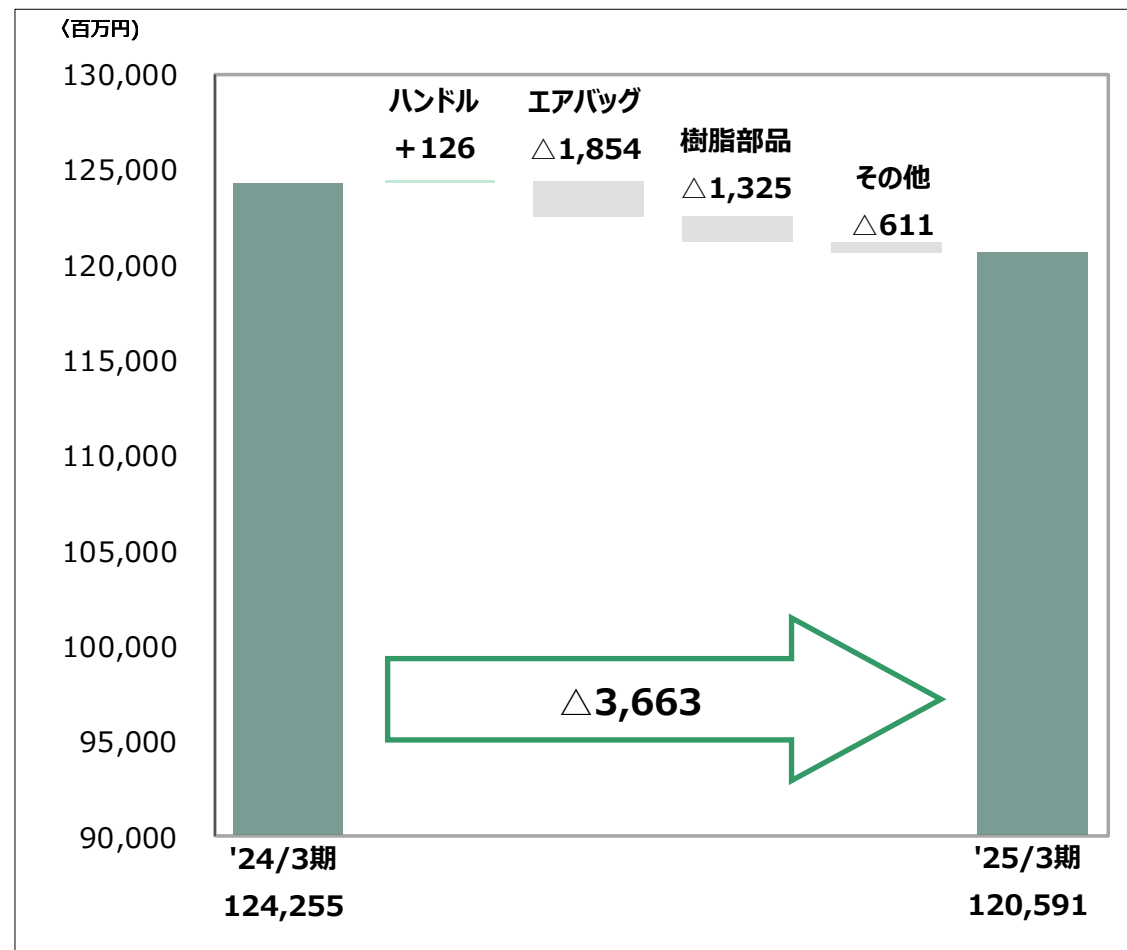


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'24／3期	'25／3期	対前年比	
			増減	伸率
ハ ン ド ル	31,518 (25.4 %)	31,644 (26.2 %)	126	0.4 %
エ ア バ ッ グ	32,715 (26.3 %)	30,861 (25.6 %)	△1,854	△5.7 %
樹 脂 部 品	59,382 (47.8 %)	58,057 (48.1 %)	△1,325	△2.2 %
そ の 他	640 (0.5 %)	29 (0.0 %)	△611	△95.5 %
連 結 売 上 高	124,255	120,591	△3,663	△2.9 %



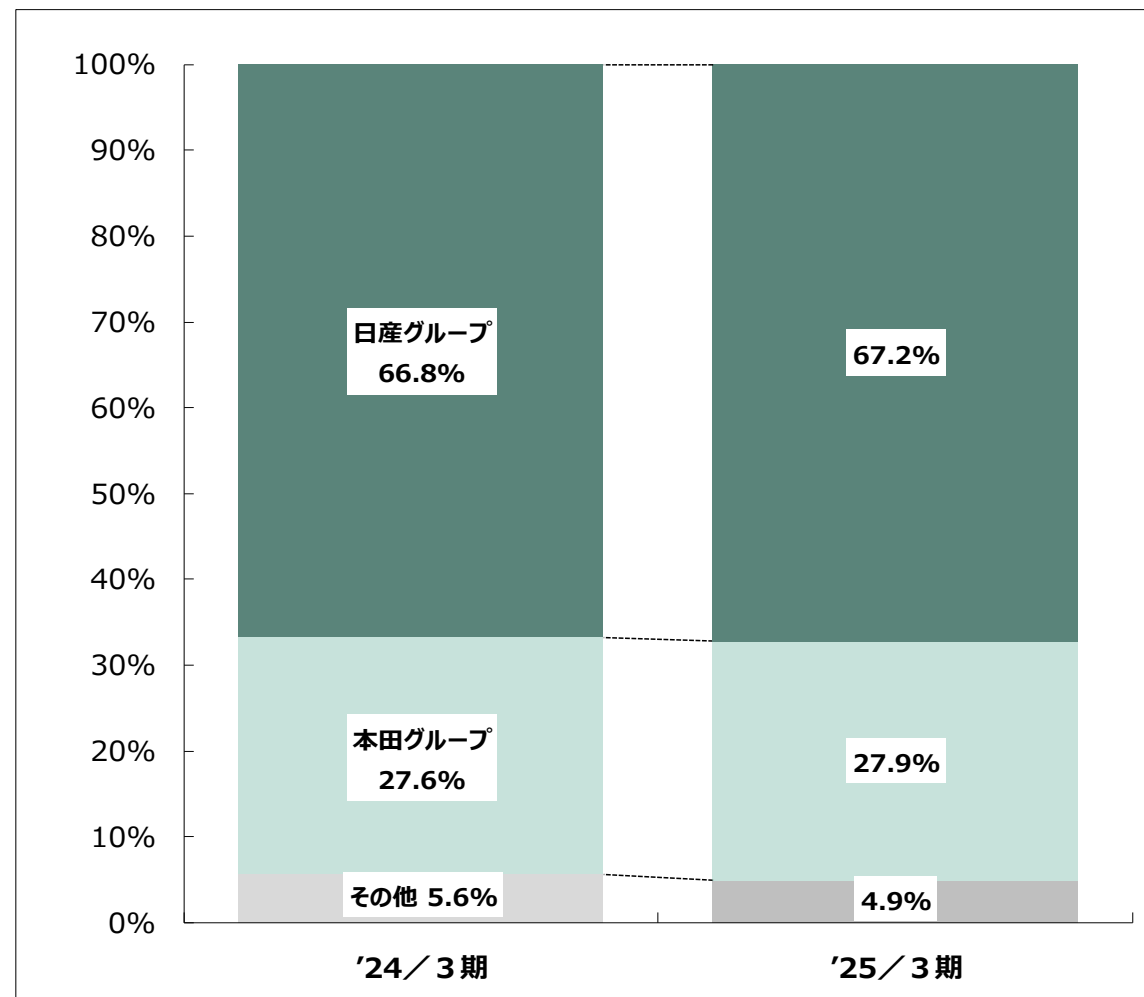
ハンドルは、為替影響等による増収が得意先の減産影響等で相殺され、概ね前期並み
エアバッグ・樹脂部品は、減産影響等、その他は、自転車用エアバッグ販売先倒産影響等により減少

(4) 得意先別売上



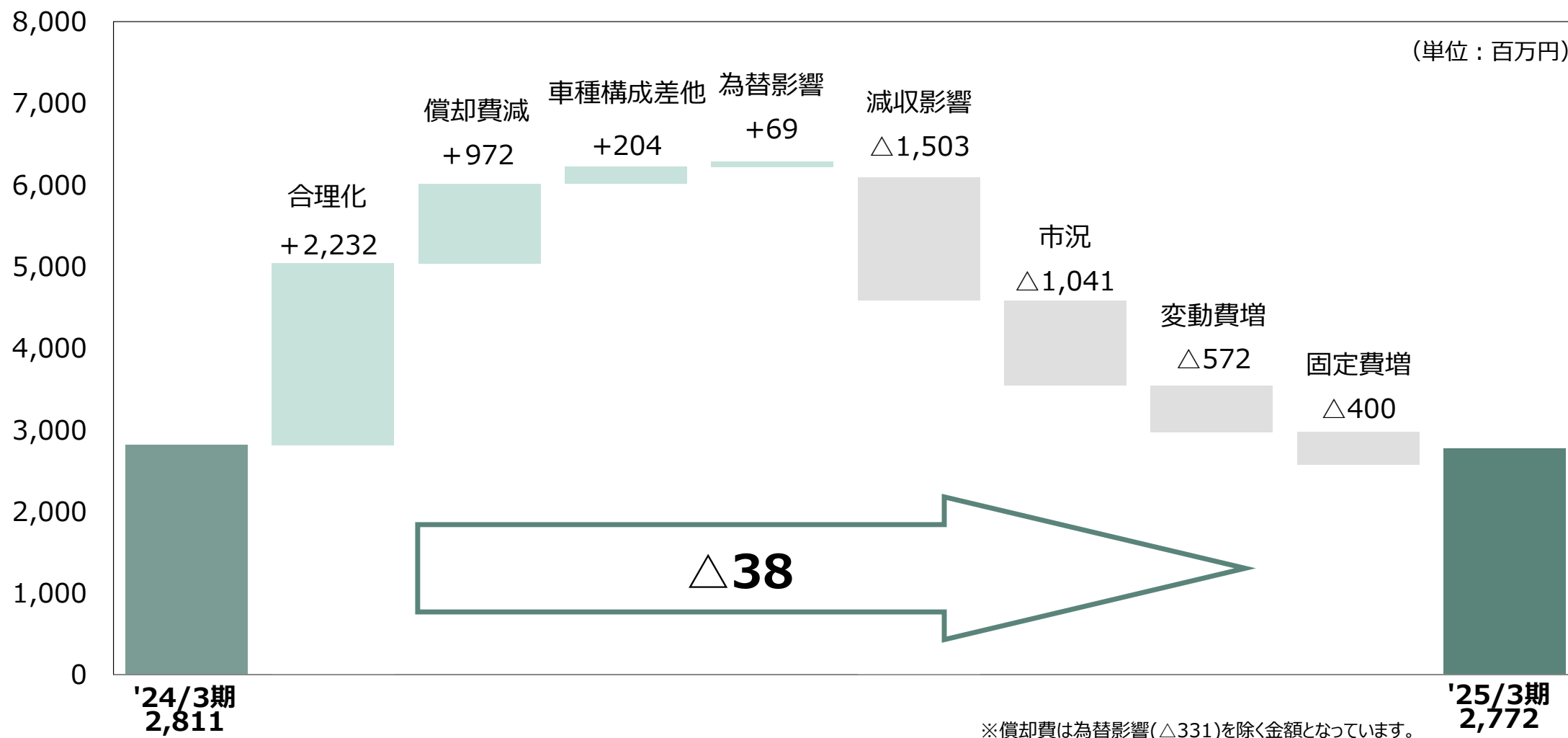
(単位：百万円)

	'24／3期	'25／3期	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	82,979 (66.8 %)	81,038 (67.2 %)	△1,941	△2.3%
本田グループ	34,319 (27.6 %)	33,614 (27.9 %)	△705	△2.1 %
その他	6,957 (5.6 %)	5,939 (4.9 %)	△1,018	△14.6%
連結売上高	124,255	120,591	△3,663	△2.9%



日産・本田は、為替影響等による増収が減産影響等で相殺され、概ね前期並み
 その他は、新規得意先の増加はあるものの、自転車用エアバッグ販売先倒産影響等により減少

(5) 営業利益増減説明



減収影響を合理化で打ち返したものの、
市況影響、変動費増加、固定費増加等の悪化要因が重なり減益

(6) B/S主要増減

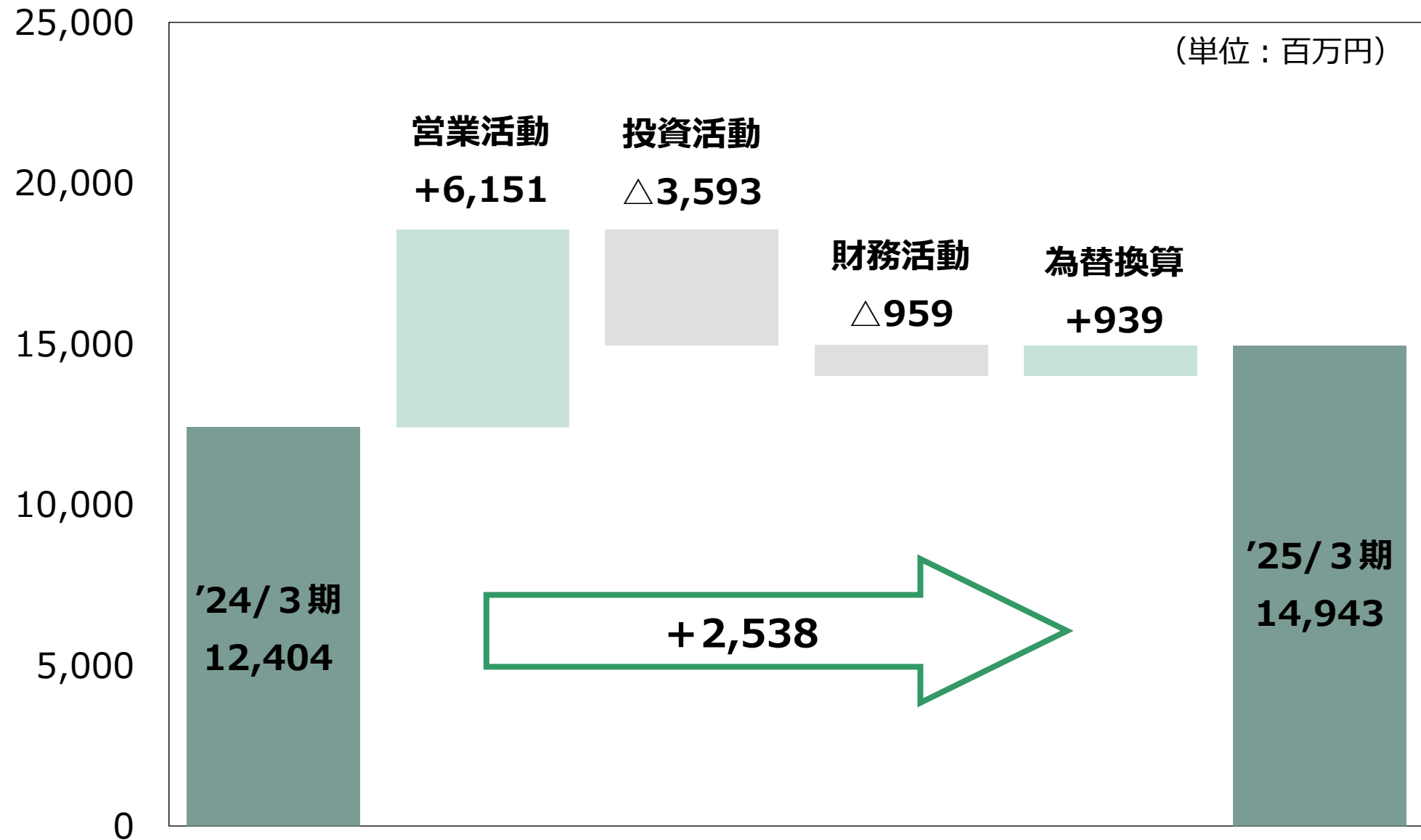


(単位：百万円)

	'24／3末	'25／3末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	46,346	48,015	1,668	・売掛金 Δ 3,407 ・現金及び預金 + 2,538 ・原材料及び貯蔵品 + 1,666
固定資産	35,587	35,692	104	・建設仮勘定 + 401
資産合計	81,934	83,707	1,773	

	'24／3末	'25／3末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	38,895	39,237	342	・短期借入金 + 1,681 ・支払手形及び買掛金 Δ 1,295
固定負債	11,981	9,932	Δ 2,048	・長期借入金 Δ 776 ・退職給付に係る負債 Δ 732 ・繰延税金負債 Δ 486
純資産	31,057	34,538	3,480	・為替換算調整勘定 + 3,065
自己資本比率	37.9%	41.3%	3.4 %	
負債、少数株主持分及び資本合計	81,934	83,707	1,773	

(7) C/F増減



1. 2025年3月期 決算報告
2. 2026年3月期 通期見通し
3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



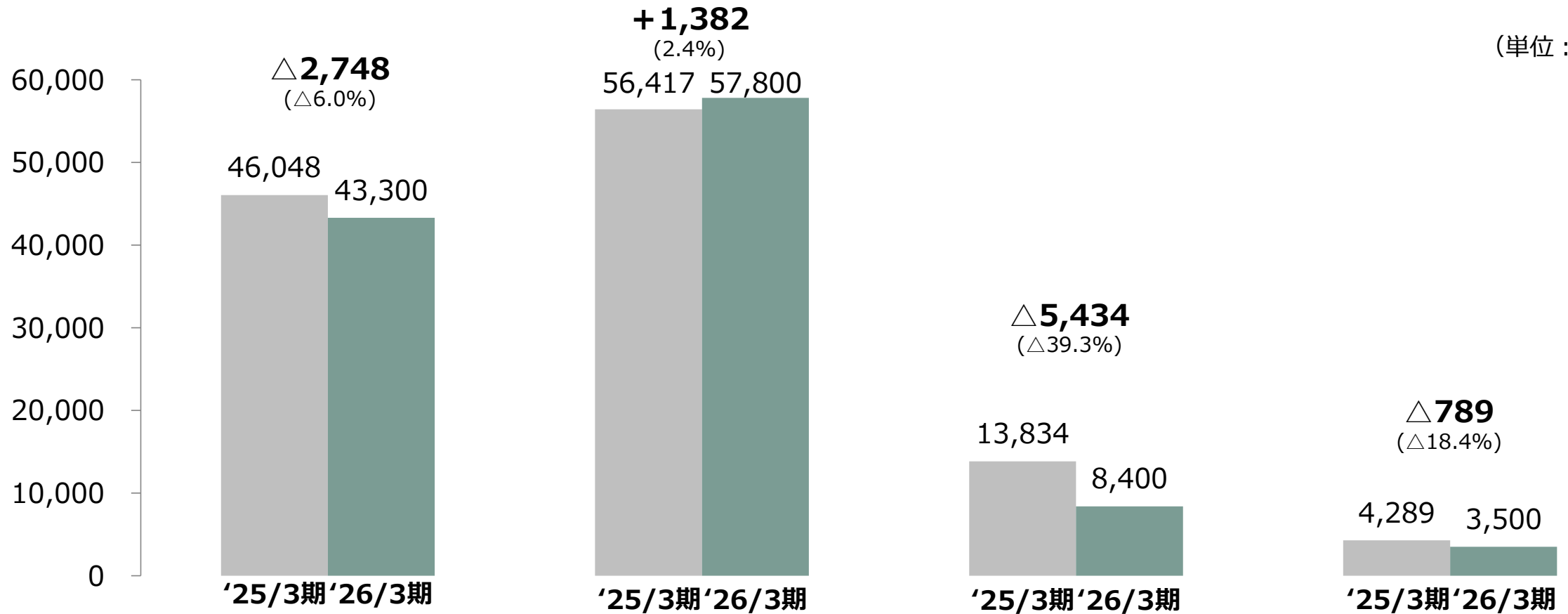
(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減	伸率
売上高	120,591	100.0%	113,000	100.0%	△7,591	△ 6.3 %
営業利益	2,772	2.3%	2,400	2.1%	△372	△ 13.4 %
経常利益	2,006	1.7%	1,600	1.4%	△406	△ 20.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	0.0%	1,300	1.2%	1,243	—
1株当たり当期純利益	2.97円		68.66円		—	—
1株当たり配当金	15.00円		20.00円		—	—
設備投資額	4,142		4,400		258	6.2 %
減価償却費	4,863		4,503		△ 360	△ 7.4 %
US \$ 換算レート	152.27円		145.00円		△ 7.27	—

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)



日本

得意先の減産等により減収

北米

得意先の増産、新車効果等
により増収

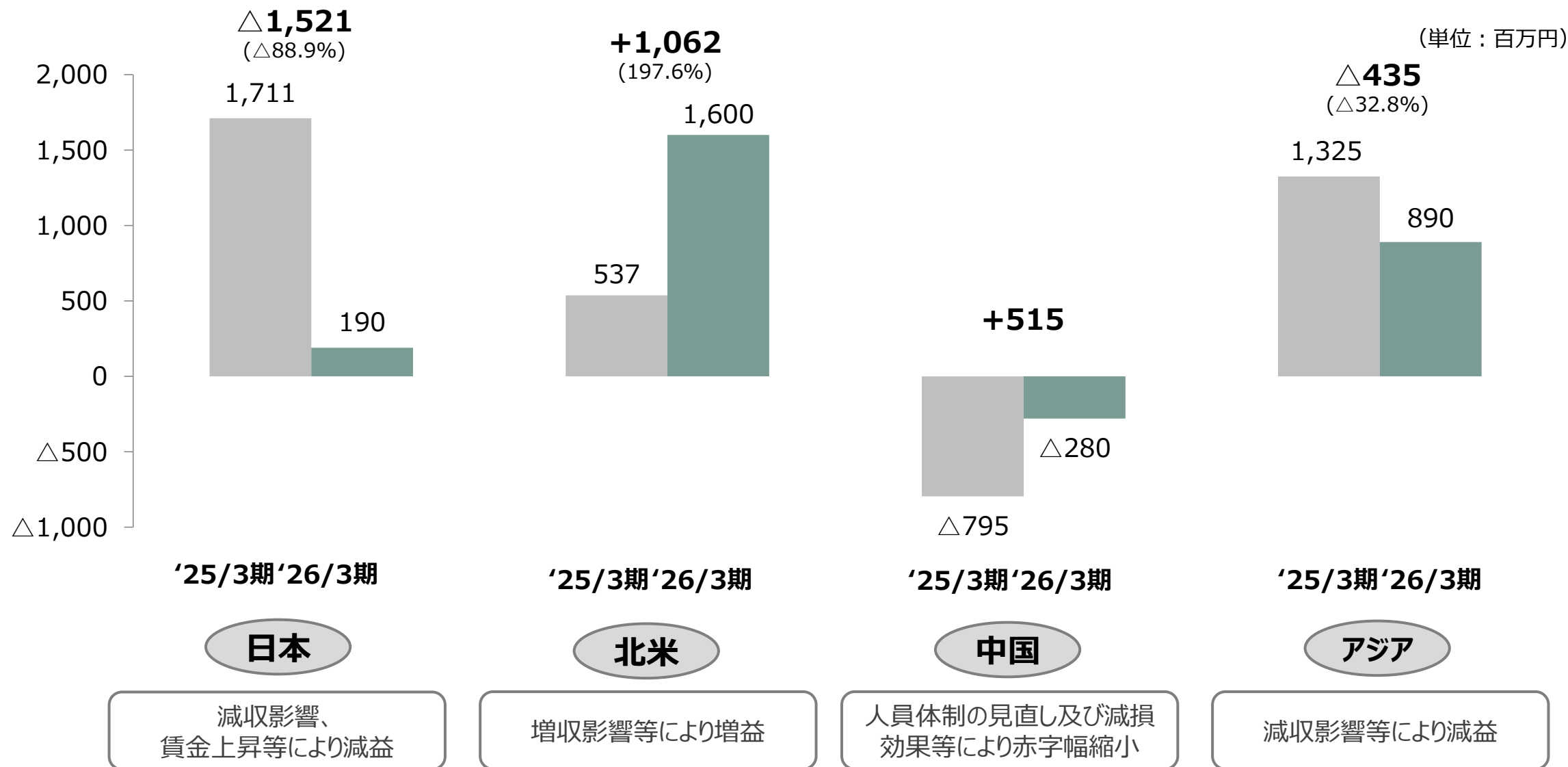
中国

日系自動車メーカー販売
不振の継続等により減収

アジア

得意先の減産等により減収

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>

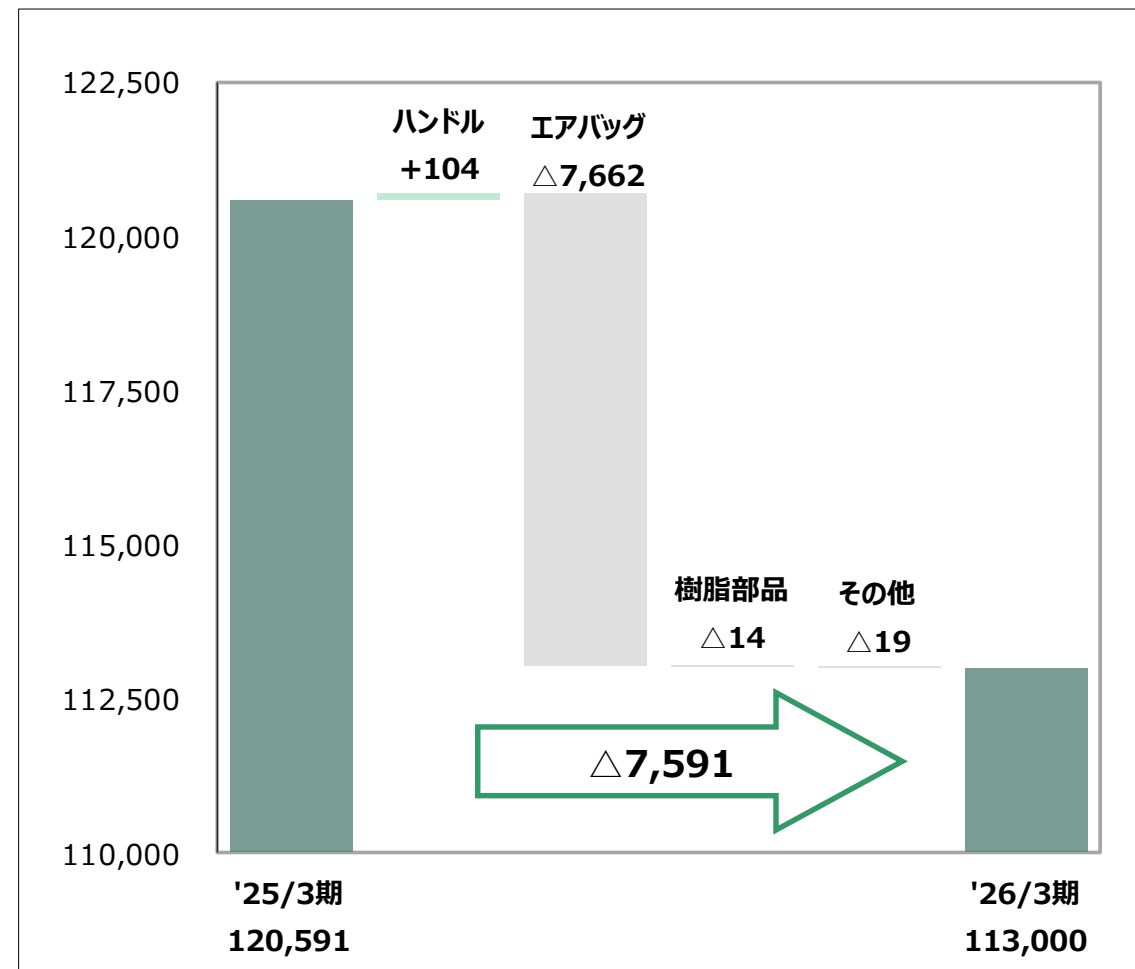


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'25／3期	'26／3期	対前年比	
			増減	伸率
ハ ン ド ル	31,644 (26.2 %)	31,748 (28.1 %)	104	0.3 %
エ ア バ ッ グ	30,861 (25.6 %)	23,199 (20.5 %)	△ 7,662	△ 24.8 %
樹 脂 部 品	58,057 (48.1 %)	58,043 (51.4 %)	△ 14	△ 0.0 %
そ の 他	29 (0.0 %)	10 (0.0 %)	△ 19	△ 65.5 %
連 結 売 上 高	120,591	113,000	△ 7,591	△ 6.3 %



ハンドルは得意先の減産はあるものの、HOD※ハンドルの増加等により概ね前期並み、エアバッグは得意先の減産等により減収、樹脂部品は概ね前期並みに推移する見通し

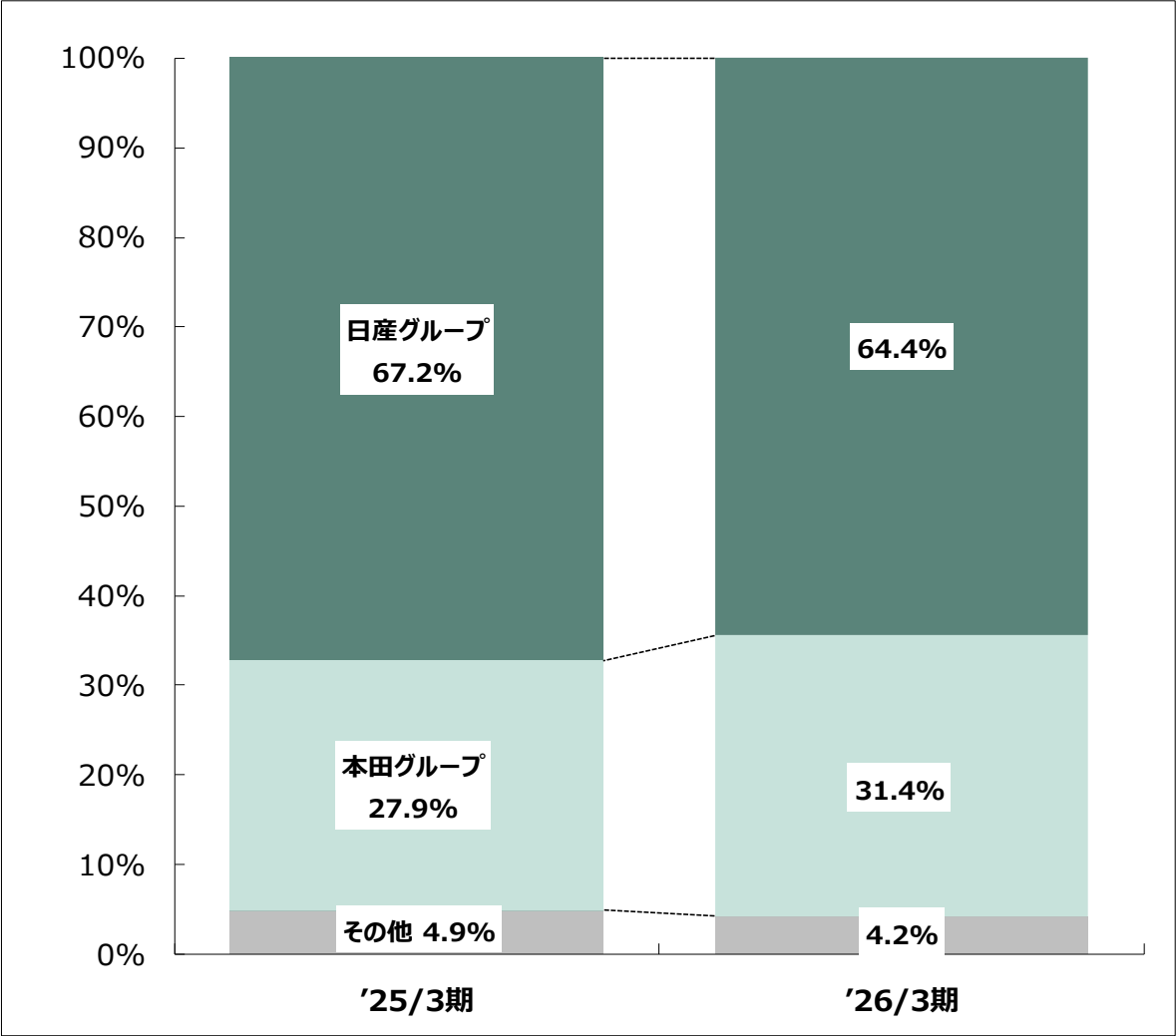
※HOD（ハンズ・オン・ディテクション）とは運転者がハンドルを把持しているか否かを検知する機能。それにより自動運転の切替が可能となる。

(4) 得意先別売上



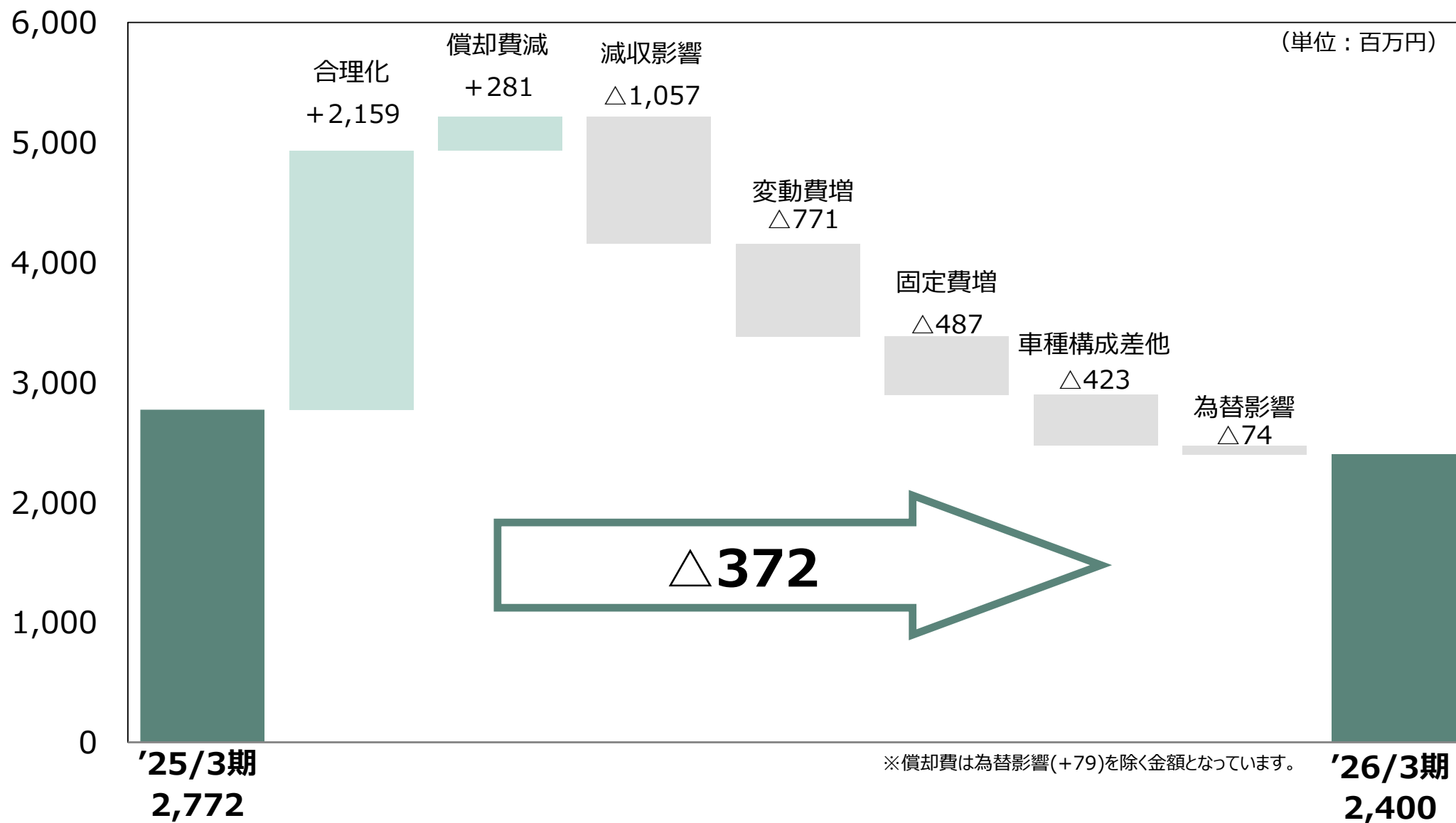
(単位：百万円)

	'25／3期	'26／3期	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	81,038 (67.2 %)	72,720 (64.4 %)	△ 8,318	△10.3 %
本田グループ	33,614 (27.9 %)	35,522 (31.4 %)	1,908	5.7 %
その他	5,939 (4.9 %)	4,758 (4.2 %)	△1,181	△19.9 %
連結売上高	120,591	113,000	△ 7,591	△6.3 %

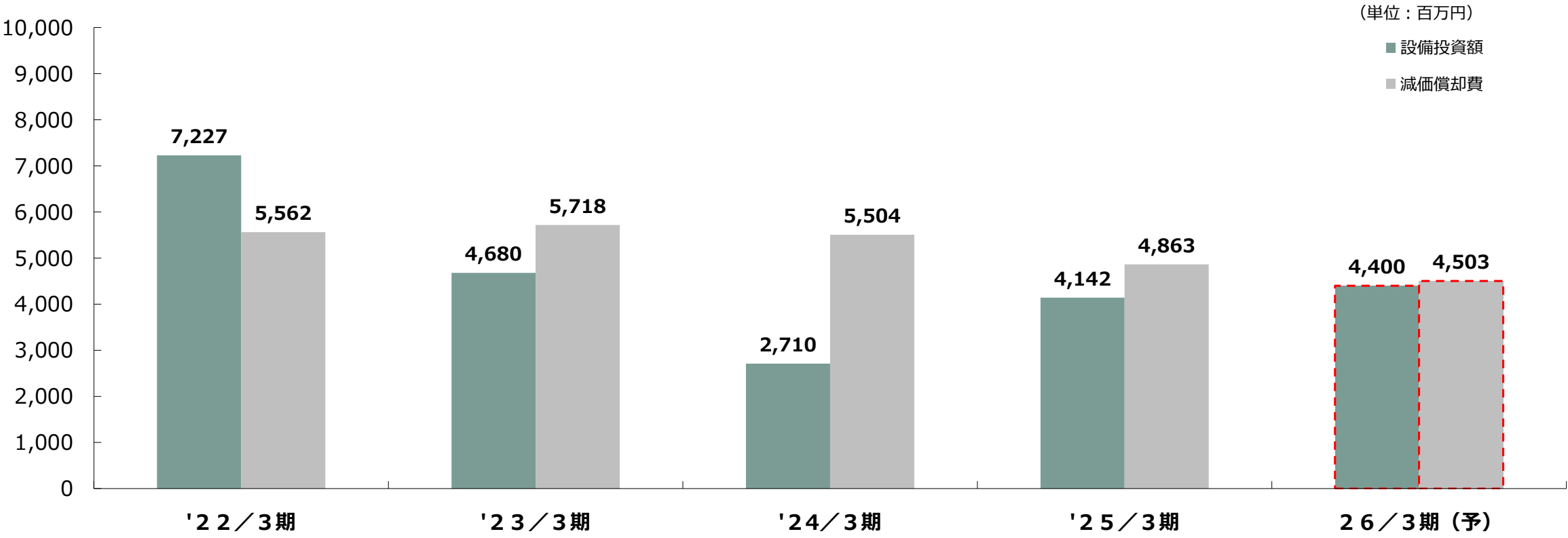


日産は減産影響及び為替の円高想定による換算差等により減収
ホンダは日本・北米での増産影響及び新車効果等により増収の見通し

(5) 営業利益増減説明



(6) 設備投資と減価償却費



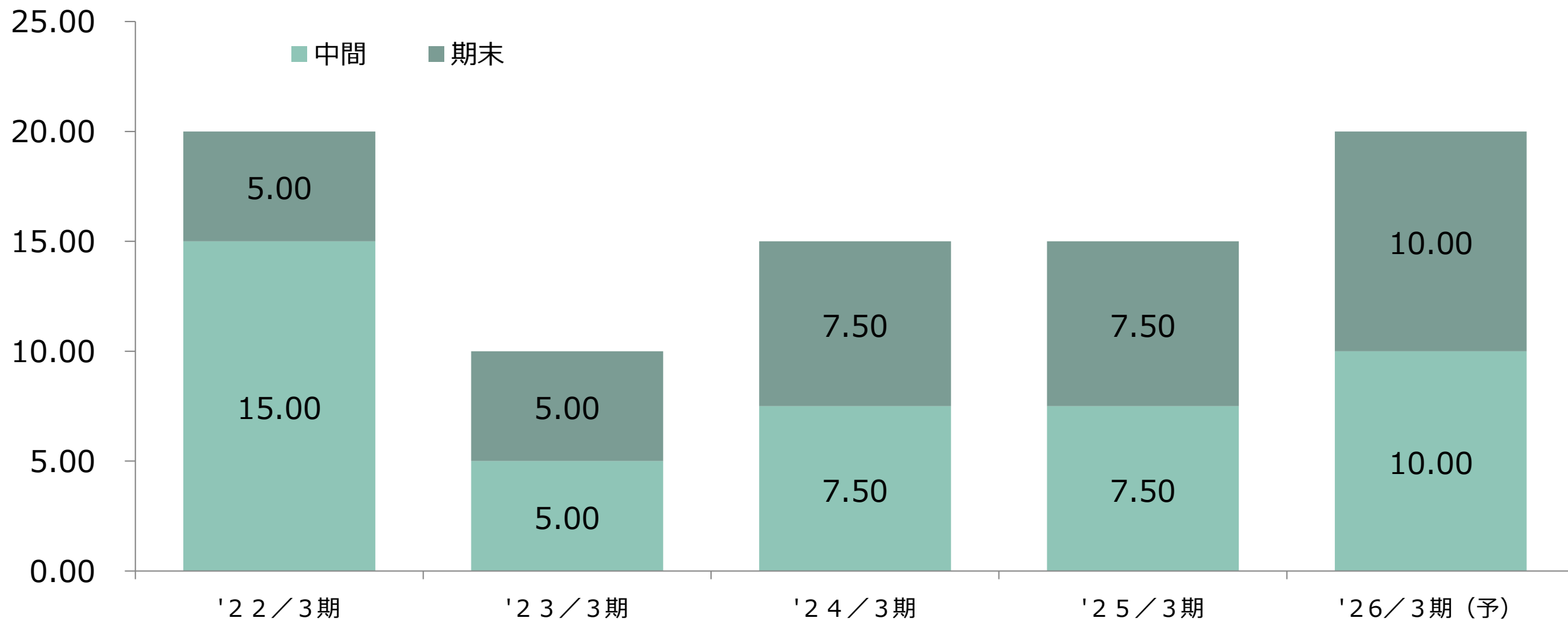
	'22／3期	'23／3期	'24／3期	'25／3期	'26／3期 (予)
投資の主な内訳	・金型 ・新車生産設備 ・工場増築	・金型 ・新車生産設備	・金型 ・新車生産設備	・金型 ・新車生産設備 ・成形設備	・金型 ・新車生産設備 ・成形設備

(7) 配当金



<配当金推移>

(単位：円)



質問	回答
①2025年3月期に特別損失が計上されているが、内容を詳しく教えてほしい。	日系自動車メーカーの販売苦戦の影響等による市場環境の悪化により、固定資産の一部回収が困難と判断したため、当社の中国子会社2社の固定資産 1,607百万円を減損損失として、特別損失に計上。
②新車開発費の発生状況を教えてほしい。	2025年3月期の新車開発費は前期に対しては高い水準で推移しているものの、得意先の新車開発スケジュールの見直し等により、計画に対しては少ないという結果となった。2026年3月期も例年と比べ高い水準で推移すると想定しているものの、自動車業界は環境の変化が激しく、さまざまな不確定要素により変動する可能性がある。
③2026年3月期の見通しの前提条件を教えてほしい。（米国の関税措置の影響等は含まれているのか）	4月末時点の最新情報を反映させており、米国の関税措置が当社の事業及び業績に与える影響等については、現時点で見積ることが困難であるため織り込んでいない。為替レート的前提は1ドル145円。

質問	回答
④中国拠点の今後について	これまでも経費削減等の対策を行ってきたが、さらなる取り組みとして、2025年3月期4Qに生産台数に見合った人員体制の見直し等を行い、その費用を計上した。しかしながら、2026年3月期は想定以上の減産が見込まれるため、得意先の動向を注視しながら、体制の再構築を進めていく。
⑤新規事業の創出について進展はあるか。	2025年3月期まではプロジェクトレベルで検討を続けていたが、2026年3月期からは専任組織化し、新規事業の立ち上げを加速していく。
⑥PBRが低水準で推移しているが、東証の要請する資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についてどのように考えているのか。	当社の属する自動車業界は環境の変化が激しく、足元の経営環境や当社の現状分析を慎重に行っていたことから、これまで取り組みを開示することができていなかったが、今般、2025年3月期決算説明動画Ⅱ部において当社の企業価値向上に向けた取り組みを説明しているのでご覧いただきたい。

1. 2025年3月期 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

日産 2025 Murano 2025年1月 米国販売

14部品採用 内、6部品新規採用

【エクステリア】



【インテリア】



【当社が受注している部品】

安全部品（2部品）

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ

インテリア/エクステリア部品（12部品）

- ・カバークウルトップ
- ・ガイドエアー
- ・カバーフロアアンダー（リア）
- ・カバーエンジンリア
- ・ラゲージサイドアッパー
- ・グリルセンターベンチレーター

新規採用

- ・センターピラーロア
- ・ダッシュサイド
- ・ステフイナーリアバンパー
- ・プロテクターリアバンパー
- ・ライセンスプレート
- ・カバーフロアアンダー（フロント）

日産 新型Patrol 2024年 中近東地域販売開始

12部品採用 内、3部品新規採用

【エクステリア】



【インテリア】



【当社が受注している部品】

安全部品（2部品）

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ

インテリア/エクステリア部品（10部品）

- ・ベンチレーター
- ・デフノズル
- ・カバーカウルトップ
- ・グリルリアクーラー
- ・プレート ルーフサイド
- ・グリルフロントバンパー
- ・プロテクターリアバンパー

新規採用

- ・ブラケットリアバンパー
- ・カバーエアダクト
- ・フレームリアドア

ホンダ ACURA ADX 2025年3月 北米発売



内装樹脂部品、 25部品新規採用

【当社が受注している部品】

インテリア部品（25部品）

新規採用

- ・グローブボックス
- ・加飾パネル
- ・コンソール
- ・バイザーメーター
- ・アウトレット
- ・カバーセンターロアー
- ・コラムカバー
- ・センタースピーカー 他



ホンダ PASSPORT 2025年2月 北米発売



内外装樹脂部品、 13部品新規採用

【当社が受注している部品】

インテリア/エクステリア部品（13部品）

新規採用

- ・センターパネル
- ・フィンガーレストパネル
- ・グローブボックス
- ・センタースピーカー
- ・テールゲートロー
- ・ブラケットミドル
- ・エアースクラウド
- ・エアガイド 他



「人とくるまのテクノロジー展 2025」に出展 次世代の自動車に向けた内装部品や サスティナブルへの取り組みを紹介

開催期間：5月21日～23日

会場：パシフィコ横浜(横浜市)



展示物

次世代自動車に向けた提案

- ・NCON II (エヌコン ツー)
- ・電動コンソール

サスティナブルへの取り組み

- ・カーボンニュートラル素材
- ・SDG s 関連製品 (plus to u)

NCON II

自動運転対応の次世代ハンドル

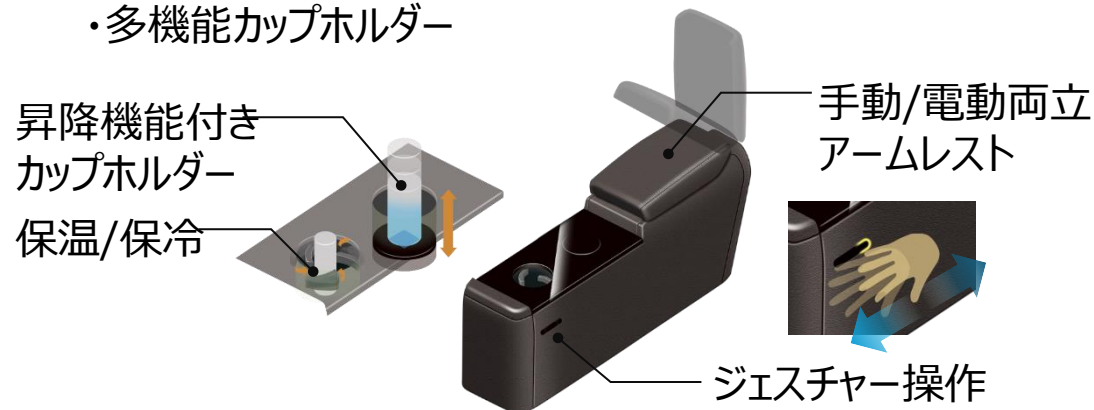
- ・手動運転での安心と快適性を追求
- ・自動運転での広々とした空間を追求



電動コンソール

運転がもっと楽しい、次世代コンソール

- ・人の操作をアシストするアームレスト機能
- ・多機能カップホルダー





日本プラスト株式会社

4年連続 「健康経営優良法人」に認定

当社は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に4年連続で認定されました。

※経済産業省が地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度



武漢富拉司特汽車零部件有限公司

東風日産より

2024年度最優秀 Supplier-Partner を受賞

Quality・Cost・Delivery・Development・Service
の全ての項目においてトップレベルであると評価され、
2度目の受賞をしました。



贈呈された盾

武漢富拉司特汽車零部件有限公司

日産（中国）より

納期遵守賞 最優秀サプライヤー品質優秀賞 を受賞

2024年度、Quality・Cost・Deliveryにおいて要求
レベルを満たし、特に品質保証レベルが高いことが評価され、
通算4度目の受賞をしました。



贈呈された盾

持続可能な社会に貢献すべく、活動を実施しました



▲田子の浦清掃活動のようす



▲健康増進活動に参加した方々



▲労働組合との対話のようす

- ・アメリカ拠点 地域スポーツイベントに参加
- ・地域ボッチャ交流会に協賛
- ・健康経営優良法人に認定
- ・アメリカ拠点 高校生向けキャリアイベントを開催
- ・アメリカ拠点 下院議員と職場環境や雇用機会について議論
- ・ベトナム拠点 良好な労使関係を築いている企業としてメディア掲載



2025年1月

2月

3月



▲富士宮駅伝に参加したメンバー



▲plus to u商品展示のようす



▲「はぐみの森」環境整備に参加した方々

- ・富士宮駅伝に協賛及び参加
- ・第8回「はぐみの森」はぐみの森環境整備を開催
- ・第4回田子の浦清掃活動を実施
- ・静岡県障害者スポーツ協会から感謝状を受領
- ・環境問題をテーマにしたロビー展に plus to u商品を展示
- ・メキシコ拠点 ペットボトルとキャップを寄付
- ・メキシコ拠点 健康増進活動を実施



◀寄付活動に参加した方々と寄付されたペットボトル等



▲ボッチャ交流会に参加された方々



▲キャリアイベントのようす



▲下院議員との議論のようす



▲地域スポーツイベントのようす

ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/6CBkMyEpuNHjzGuX9>
(受付期限：2025年6月30日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/tdm9n3A36FZmk5XP8>
(回答期限：2025年6月30日)



本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。